

事業所における自己評価結果

児童発達支援事業所 りんりん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	②	職員の配置数は適切である	6			・人員配置を満たしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		・PDCAサイクルを心掛け、定期的にミーティングを行い、職員間での共通理解に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			
業務改善	⑥	事業所向けの自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか	6			・ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・オンラインでの研修受講など、外部研修へ積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		・遠城寺式、乳幼児分析的発達表を使用しています。スタッフが共有しやすいアセスメントツールを検討していきたいと思っています。
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			・保護者のニーズを聞きながら、児童発達支援ガイドラインに沿って個別支援計画を作成し、支援内容を設定しています。
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・毎月の活動プログラムを作成し、職員間で役割分担を決めて取り組んでいます。
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・季節の行事を取り入れたイベントを企画したり、発達段階に応じて様々な経験ができるようプログラムを立てています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と週案活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・毎朝の朝礼で一日の活動内容の確認を行い、活動前には打ち合わせや役割分担を行っています。また、活動後の振り返りや反省会を通して、職員間で意見を出しあい、次回の改善に繋がっています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			

	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		・半年に一回モニタリングを行い、職員間での話し合いを行っています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援の為に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		・現在、医療的ケアが必要な子どもは通っておりませんが、今後の受け入れの際には関係機関と連携し、連絡体制を整えていきます。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1		
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	㉕	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	1	・コロナ禍で実施が難しい状況の為、法人内での交流会を設けています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	1	・コロナの感染状況をみながら、今後積極的に参加していきたいと思えます。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6			
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・プログラム等)の支援を行っているか	5		1	・コロナ禍に伴い、保護者の勉強会等は行っていませんが、職員による研修会の受講や、ペアレント・トレーニングの視点を持って保護者の方からの相談に応じられるよう心がけています。	
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2		・施設内に掲示している為、保護者の方の目にとまるよう掲示方法や案内方法を検討していきます。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			
	㉝	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	2	・コロナ禍の為、保護者会等の交流の場を設けることが難しい状況です。今後コロナの感染状況を見ながら検討したいと思います。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			

	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している	6			・毎月のおたよりやコドモン等のアプリを活用して発信しています。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意している	6			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	2	・コロナの感染状況を見ながら、今後企画、検討したいと思います。
非常時の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1		・今後保護者への周知徹底に努めていきたいと思っています。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に救出その他必要な訓練を行っている	6			・非常時に備えた訓練を、消防立会いのもと行っています。
	④⑫	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	1		・契約時にアセスメントを行い、保護者へ確認を行っています。
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされている	5	1		・契約時に保護者へ確認を行い、医師の診断含め保護者の意向に沿った対応を行っています。
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・ヒヤリハット報告書を作成し事業所内で共有し、事故等を防ぐ対策を行っています。
	④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・虐待防止に関する研修会への参加や、事業所に虐待防止委員会を設置し、委員会での検討結果をスタッフに周知徹底しています。
	④⑯	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1		・契約時に保護者へ、身体拘束についての説明を行っています。